



わた なべ てる かず
渡 辺 晃 一

いっ しん かい
一 津 会

市民からの要望に即答、即応の体制はどうか

問 自治会等からの要望にすぐに対応できるものばかりではない事は承知しているが、市民の希望や想いを全職員が理解し、課題を共有し、「できる事」「できない事」の理由を市民に丁寧に説明し、即応できる市役所づくりが必要である。特に、地域の少額な要望は総合支所で対応できる体制を。また、建設関係については、技術指導・助言のできる再任用職員の活用を。

答 自治会等から要望書をいただいた場合、概ね1週間以内には担当者が自治会長等に面会をする等、連絡させていただき、趣旨を確認している。いただいた要望はすぐに対応できるものばかりではないので、できるものとできないものを整理し、1カ月を目途に地域や自治会長に方向性をお示しし、できることから着実に取り組みを進めている。所管によっては要望が多く、1カ月以内に対応できないこともあるが、要望された方々の気持ちに伝えるため、早い対応ができるよう努力している。

また、総合支所は地域に密着したサービスの提供を図っていくことが基本と考えることから、正規職員のほかに再任用制度を活用しながら効果的な職員配置に努めていく。

●その他の質疑・質問●

- (仮称)津市産業・スポーツセンターについて
- 道路ネットワークの整備
 - ・津市道路整備計画の総事業費、実施済の総延長と事業費は
 - ・整備できていない路線について今後どのように進めていくか
- 鳥獣害対策について
 - ・被害の現状と対策実績は
 - ・鳥獣害対策予算の推移
 - ・情報の発信、提供は など



▲自治会要望に対し、現地で対応する市職員と関係者



やま ざき まさ ゆき
山 崎 正 行

しみんくらぶ
市民クラブ

波瀬川の整備と橋梁の補修状況について

問 ここ2年間で水害による避難勧告・避難指示が5回も発令され、周辺住民の皆さんを不安にさせた波瀬川水害は、下川原橋下流の田尻地内の頭首工(弘法井)が最大の原因である。管理者である国・県に対する早急な改修要望と橋梁補修について最新の廉価で強度な工法が考案されたと聞くことから、トンネル事故の例もあり、至急かつ計画的に取り組む事を強く求める。

答 頭首工あるいは開口部の整備、しゅんせつ等も含めて、河川全体をきちっと整備していくことが必要である。同時に、どのような状況になった時にどうすればいいのかということ、三重河川国道事務所と実務的に詰めていきたい。

橋梁の補修工法については、国交省に確認中であるが、本市の橋梁のうち、老朽化橋梁といわれる橋梁が約18%あり、このまま老朽化が進めば一斉に大規模な修繕や更新をしなければならないことから、今年度内に橋梁長寿命化計画を策定し、社会資本整備総合交付金を活用した修繕を計画的に実施することにより事後保全型の管理手法から予防保全型の管理手法への転換を行い、更新ピークの平準化とコストの縮減を図っていく。

●その他の質疑・質問●

- 三重短大の国家斉唱は教育機関の義務、早急に実施を
- 市民の一体感の醸成に、学校施設・公共施設に市旗の掲揚を
- 国保の収納率向上と税の公平性から国保料の税への変更を
- 河川監視と災害対策本部の在り方の見直しを
- 喜ばれる敬老事業に見直しを
- 市民の環境意識の高揚にポイ捨て防止条例の制定を など



▲避難勧告が発令され氾濫に備え土のうを積む波瀬川の様子